



大砂土中だより

はっ らっ  
澁 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

http://osato-j.saitama-city.ed.jp

No.8 平成28年 12月1日号

### 進路指導・キャリア教育と学習意欲

校長 清水 一司

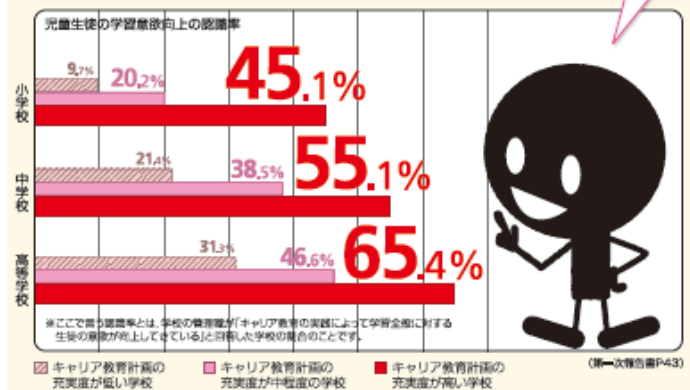
私は新田次郎の山岳小説ファンです。本格的な登山の経験はありませんが、先日「劔岳 点の記」を読み小説の中で登山を味わいました。この作品の舞台である明治39年は日本地図が完成されていなく、劔岳がある富山県立山連峰付近が空白地帯でした。主人公である陸軍測量官の柴崎は「陸軍の威信にかけて人類未踏の劔岳山頂に三角点を設置せよ」との命令よりの劔岳への登頂に挑みます。明治時代のことですから今とは比べ物にならない装備で命がけの仕事だったことが想像できます。それでも柴崎は数々の困難を乗り越えて劔岳登頂に成功し三角点を設置します。柴崎には、人類未踏の劔岳に登頂し日本地図を完成させることが、命がけで仕事に向かう強い動機となっていたのでしよう。

ところで、三角点設置のための測量には三角比を使います。「sin、cos、tan」の三角比です。この三角比の起源は古代エジプトにあったと伝えられています。当時のエジプトはナイル川の定期的な氾濫により区画整理した耕地が流されるので、耕地復元のための測量技術が発達していたようです。おそらく古代エジプトでは、ナイル川氾濫の度に土地のことで人々の争いがあったものと思われます。当時のエジプト人は土地測量の必要性が強い動機となって三角比を発明したのだらうと想像できます。

劔岳山頂への三角点設置にしても三角比の発明にしても、明確な目的があったからこそ成し遂げることができたと思います。人は目的があると仕事に驚くほどの大きなエネルギーを注ぐことができます。これは「仕事」を「学習」に置き換えても言えることではないでしょうか。明確な目的があれば学習に注ぐエネルギーが増大する、つまり学習意欲が向上するのではないかと考えられます。この考え方に関連して興味深いデータがあるので紹介します。右のグラフは国の機関が平成24年に進路指導・キャリア教育の取組状況と児童生徒の学習意欲との関係を調査した結果です。このことから、進路指導・キャリア教育の取組と児童生徒の学習意欲には相関があることがわかっています。児童生徒は進路指導・キャリア教育の取組により学ぶことの目的や必要性に気付き、学習意欲を向上させているのだらうと考えられます。

本校では、「自己理解のための組織的・計画的な進路指導・キャリア教育の充実」を

児童生徒の学習意欲が向上したと回答した学校の割合を見てみると、  
充実した計画に基づいてキャリア教育をしている学校ほど、  
学習意欲も向上する傾向にあります！



「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」パンフレットから  
(文部科学省 国立教育政策研究所)

本年度の努力事項の一つに掲げています。具体的には、「さいたま市中学生職場体験事業『未来くるワーク体験』」を核として、1年生から3年生まで進路に関する啓発的な体験学習を充実させ、望ましい勤労観・職業観をはぐくめるように努めています。特に本年度は、進路指導・キャリア教育全体指導計画を全面的に見直し「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」などの「社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度」を教育活動全体で育成できるようにしました。

明確な目的があったからこそ柴崎が劔岳山頂への三角点設置に、古代エジプト人が三角比発明に意欲をかきたてられたように、本校では進路指導・キャリア教育を充実させることで生徒に学ぶこと目的に気付かせ、生徒の学習意欲をかきたてたいと考えています。

## 平成28年度進路指導・キャリア教育全体指導計画

### さいたま市学校教育ビジョン

さいたま市の目指す子ども像  
「ゆめをもち、未来を切り拓くさいたま市の子ども」

- ・将来なりたい職業を見つけられる子ども
- ・自分の言動に責任もてる子ども
- ・クリティカル・シンキングのできる子ども

### 学校教育目標

#### 自ら学び 考え 行動する生徒の育成

##### 目指す生徒像

- ・かしこさ…自ら考え、進んで学ぶ生徒
- ・ただしさ…正しく判断し、進んで実行する生徒
- ・たくましさ…ねばり強く、進んで鍛える生徒
- ・ゆたかさ…思いやりを持ち、進んで奉仕する生徒

元 気 に あ い さ つ を し よ う  
三 つ の 実 行 整 理 ・ 整 頓 ・ 清 掃 を し よ う  
時 間 を 守 る う

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領  
さいたま市中学校  
教育課程編成要領  
さいたま市の学校  
教育推進の指針・指  
導の努力点

保護者の願い  
教師の教育理念  
地域社会の要望

#### 地域生徒の実態

学習には真面目に取り組んでおり、高校進学への興味・関心は高い。その一方で主体的に自分の進路について検討するという点が充分ではない。

### 本校の進路指導・キャリア教育目標

- (1) 将来に向けて、勤労観を育て、働くことの意義について理解を深める。
- (2) 進路選択に向けて、目標をもち学ぶことの意義について理解を深める。
- (3) 自己理解を深め、自分自身の可能性を肯定的に捉え主体的に行動する力を育てる。
- (4) 生き方を考えさせ、自分にとって何が大切かを判断し、主体的に進路選択ができる力を育てる。

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
他者の個性を理解する力 コミュニケーションスキル	自己の役割の理解 自己の動機づけ	情報の理解・選択・処理 課題発見	学ぶこと、働くこと の目的・意義の理解

### 各学年の指導目標

- 第1学年：自分の将来の進路について関心をもたせ、自己理解や自己の個性の伸長を図ろうとする態度を養う。  
第2学年：職業や上級学校等に関する理解を深め、進路選択の能力を高めさせる。  
第3学年：総合的に自己理解を深めるとともに進路に対する心構えを養い、進路選択・決定が具体的にできるよう指導・援助する。

### 各教科等における進路指導・キャリア教育

各教科	道 徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他の教育活動
教科の学習を通して社会人として必要な職業の基礎的な知識・技能の習得を図る。 自己の興味・適性・能力について知り、自ら進路を計画する力を養う。	勤労観・職業観についての指導を計画的に進める。 人としての在り方について考えを深める。	自分のよさや個性が分かり、他者のよさや感情を理解し、尊重する態度を養う。 多くの情報を収集し、その情報を活かすために努力しようとする力を養う。	生徒会活動・学校行事・学級活動をととして生徒の自主的・実践的な活動を助長しながら、個々の能力・適性について自己理解を深めさせ、それらの伸長を図る。	教育相談や三者面談をととして、自己の適性を知るとともに、進路選択に対する悩みや苦しみを克服し、将来に対する夢を抱き、その実現へ向けて努力するよう指導援助する。